

取扱説明書

ギアレッチ 品番：# 4 1 1 2 2 0 0 0 型式：NPLG82

1, 使用目的

・本機は、新ISO規格8穴・10穴車（欧州大型トラック、バス）のホイールナットの脱着作業を行なう工具です。

2, 注意事項

△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重症を負う危険性があるもの。）

- ① **延長パイプは使用しない** ください。過度の入力トルクがかかり、本機破損の原因になります。トルクは、手力×距離で得る事が出来ます。ナットを締める時は、付属のハンドルを**縮めて**使用するので、ハンドル長さ33cmで手入力94kgまでの荷重（最大入力304N・m（31kgf・m））で使用してください。又、延長パイプを使用し、本機が破損してもクレーム対象にはなりません。
- ② 内部歯車保護の為、本機には**安全ピン**が付いています。入力トルクオーバーで安全ピンが曲がるか、折れた時は、新しい物と交換してください。**絶対に他の物を安全ピンの代替として使用しない** ください。本機破損の原因になります。
- ③ 入力時、ハンドルに力を入れている時は急に手を離さないで、**ゆっくりと手の力を抜きハンドルを離して** ください。一度手の力を抜いてハンドルを離すと、**反動で入力反対方向に跳ね返り、顔や体に怪我をする恐れ**が有ります。
- ④ **過度の入力トルクがかかると安全ピンが折れて**、作業者が転倒し、怪我をする恐れが有ります。必ず、**安定した姿勢で軸に対して垂直**に回してください。無理な姿勢では、作業をしないでください。
- ⑤ ハンドルは付属品を使用してください。市販の他のハンドルは、使用しないでください。事故、故障の原因になります。
- ⑥ 不意のパンク等で、やむを得ず車道で本機を使用する時は、周囲の安全を確認して、非常停止板を設置してください。重大事故につながる恐れが有ります。

△注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品の重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ① **本機に破損箇所がある場合は、直ちに使用を中止** してください。
- ② **分解、修理、改造は決して行わない** ください。本来の能力が発揮出来なくなる恐れが有ります。又、事故につながる恐れが有ります。
- ③ ハンドル操作は、必ず両手で行ってください。決して、**ハンドルを足等で操作したり、叩かない** ください。過度の入力トルクがかかり、本機破損の原因になります。又、ホイールより本機の抜け落ちや、安全ピンの破損により怪我をする恐れが有ります。
- ④ 作業時は、ヘルメット、安全靴、保護眼鏡、手袋等を着用してください。
- ⑤ **操作方法を熟知していない人には、使用させない** ください。
- ⑥ 雨ざらしにしたり、湿気を帯びたまま、収納しないでください。本機の能力が落ち、故障の原因になります。
- ⑦ **本機を投げたり、乱暴に扱わない** ください。
- ⑧ 本機は、**ホイールナットの脱着を行なう為の工具**です。他の用途には決して使用しないでください。

3, 仕様

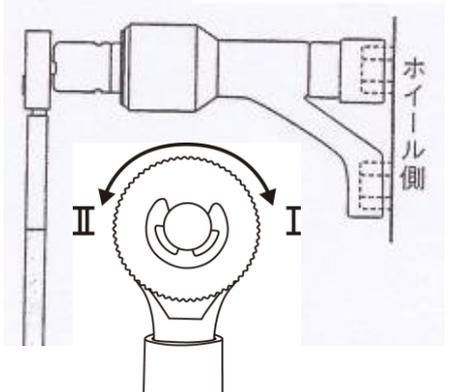
- ・出 力：2942N・m（300kgf・m）25.4mm凸角
- ・入 力：～304N・m（～31kgf・m）12.7mm凹角
- ・倍 率：12：1
- ・自 重：10kg
- ・付 属 品：33mmソケット、ハンドルA12LP、安全ピン2ヶ

4, 使用開始前点検

- ・指定の安全ピンが確実に取り付けられている事を確認してください。変形、破損している場合は、直ちに交換してください。
- ・本機に、割れ、カケ、曲がり、ヒビ、無負荷での空転作業等で異常がある場合は、使用しないでください。
- ・平らで、安全な場所で作業をしてください。又、**作業員以外は、作業場所に近付けさせない** ください。

5, 使用方法

- ① 主軸に33mmソケットを、確実に差し込んでください。
- ② トラックのホイールナットに33mmソケットを差し込み、抵抗止めを隣のナットに差し込んでください。
- ③ 入力角にハンドルを差し込んでください。ナットを締める時はハンドルを縮めて、ナットを緩める時は、伸ばして使用してください。
- ④ 新ISO規格車のホイールナットは左右ともに右ねじになっています。ナットを締める際は、ハンドルの切替ダイヤルを図Iの方向に、ナットを緩める際は、図IIの方向に、回してください。
- ⑤ ハンドルを両手でゆっくりと、軸に対して**垂直に回して**使用してください。
- ⑥ 使用中は本機がホイールから抜け落ちない様に、**ホイール側に本機を押しえ付けて**作業をしてください。



6, 安全ピンの交換方法

- ① 安全ピンが破損、変形した場合は、下記の手順で**指定の安全ピンと交換**してください。
- ② ピンポンチ等を使用して、横から安全ピンを叩き出してください。抜けにくい場合は、止めネジを少し緩めて、安全ピンを抜き取ってください。止めネジを緩めすぎると、内部の圧縮コイルバネ、スチールボールが抜け落ちます。緩め過ぎないように注意してください。**もし抜け落ちた場合は、元の通り確実に組み付けて**ください。
- ③ 新しい安全ピンを確実に差し込んで、止めネジを締め付けてください。